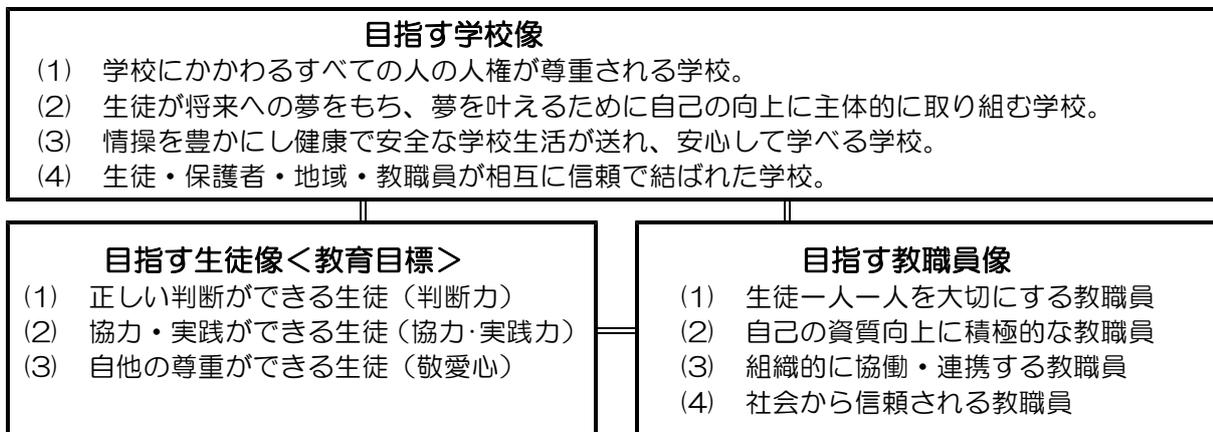


平成26年度 学校経営方針

練馬区立田柄中学校長 中山 徹

I 目指す学校像・生徒像・教職員像



II 平成26年度の重点目標

重点目標・重点目標を達成するための方策		
学 習 指 導 ・ 道 徳 等	<p style="text-align: center;">①各教科の指導の充実</p> <p>○各教科で授業改善、指導法の工夫に努め、基礎・基本の確実な定着を図ります。</p> <p>○標準時数以上の授業時数を確保します。週案簿の提出・点検を毎週確実に行います。</p> <p>○学習活動の中に言語活動を積極的に取り入れるとともに、習得した知識・技能を活用し表現する 場面を意図的、計画的に設定します。</p> <p>○研究授業、授業公開、相互授業参観を計画的に実施します。また学習到達度調査の結果等を活用し、指導方法改善や教材開発に努めます。</p> <p>○評価に関する説明責任を果たします。生徒の学習意欲を喚起する評価に努めます。</p> <p>○家庭と連携を図り、家庭学習の定着をすすめます。</p> <p>○話し合い活動を授業に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力の向上を図ります。</p> <p>○学校図書館の活用を全教科で推進します。調べ学習や文献資料の活用を授業に取り入れます。また、図書支援員とも連携し、図書室の蔵書の充実、学級文庫の充実を更に図ります。</p>	
	<p style="text-align: center;">②道徳授業の充実</p> <p>○道徳の時間は、地域人材の活用・体験活動との関連等を積極的に図るとともに副教材を活用し、自他の生命の尊重及びいじめや差別、偏見を許さない心を育てます。</p> <p>○あらゆる機会を通して人権感覚の涵養を心がけます。また、国際理解、人権・生命尊重などに関する講演会等を実施します。</p> <p>○道徳授業地区公開講座（6月実施）を活用し、保護者・地域住民の評価を真摯に受け止め 指導に生かします。</p> <p>○正しい言葉づかいや明るい挨拶を推進し、田柄中学校の良き伝統を継承します。</p>	
	<p style="text-align: center;">③特別支援教育の充実</p> <p>○さまざまな実態を伴う生徒がいることを常に意識しながら、生徒に学ぶ意欲を喚起させるための授業準備・教材開発を行います。特に支援が必要である生徒には、保護者に理解・連携を求め、具体的に効果的な指導を目指します。</p> <p>○特別支援コーディネータを中心に校内委員会を定期的の実施します。各教員が、スクールカウンセラー・心の相談員・関係機関と連携し情報を共有し、個に配慮した指導をすすめます。</p>	

○不登校生徒の改善を図るため、不登校傾向のある生徒に対し学校として組織的な対応を図るとともに、スクールカウンセラーや心の相談員、関係諸機関との連携を更に進めます。

①生活指導（安全指導、保健指導、環境整備を含む）の推進

- 日々の諸活動の中で生徒の実態をきめ細かく把握し、生徒理解に努めます。
- 学級指導を中心に、基本的な生活習慣や社会ルール・マナーの指導を行います。特に、日々の清掃指導、給食指導については、各学年で点検活動を徹底するなど指導を工夫し、各生徒の役割と責任を自覚させていきます。
- いじめに関するアンケート調査を定期的実施（3回実施予定）し、実態把握、問題の早期発見に努めます。また日常の活動の中で、生徒の変化・サインを見逃さず、また問題行動等に対しては学校組織として対応していきます。
- 家庭や地域との連絡を密に取り、協力体制を構築します。
- 教育相談を重視し、スクールカウンセラー・心の相談員との連携を密にします。また、必要に応じて関係諸機関との連携を行います。
- 年間通して計画的な保健指導を実施（健康診断、発育測定等）し、生徒に自らの身体の成長に関心をもたせるとともに、必要な知識、実践的態度を身に付けさせます。また、食育指導を推進し、生徒の食に対する関心を高めさせます。
- 授業・体育的行事・部活動等を通して。生徒の体力向上を図り、健康な体づくりを進めます。
- 防災教育を推進し、生徒の防災・安全に対する意識を高めます。また薬物乱用防止教室（6月実施）、情報モラル教室（6月実施）を通して、薬物、情報、防犯などの正しい知識や規範意識を培い、生徒に健全な生活習慣をつけさせます。
- 定期的な施設点検を進め、事務室と連絡を取り合い危険箇所の早期発見・改修に努めます。また主事室と連絡を取り合い、校舎内外の美化を計画的に進めます。廊下・教室に花を飾ります。

②進路指導の充実

- 生徒が社会人として育つ基礎作りを行うため、「講演会」「職場体験学習」「上級学校訪問」などを実施します。
- 生徒が主体的に進路選択が出来るように、学級指導等の中で、生徒に自己の適性を把握させていく機会を設けます。また、面談等を通して、進路選択への心構えなどについて指導を進めていきます。
- 進学等の指導については、生徒・保護者との個別面談などをきめ細かく実施し、進路決定に向けて必要な支援を計画的に進めます。

③特別活動の充実

- 生徒会本部の活動、委員会活動を充実させ、生徒会活動の活発化を図ります。
- 社会の一員としての自覚や責任感を育成するため、ボランティア活動や社会体験活動を充実させ、生徒が地域社会に積極的に貢献する活動を推進します。
- 学校行事や部活動を活発化させ、その中で生徒の自己実現を図り、学校生活を活気あるものにしていきます。また、修学旅行、スキー教室、臨海学校などを通して、生徒の体験的な学習の場を広げ、望ましい人間関係づくりを進めてきます。
- 朝読書を行い、生徒の広い視野や想像力、教養を養うとともに、落ち着いた学校生活を送らせませす。
- 挨拶の励行、校内美化の徹底、花いっぱい活動、掲示教育（教科・学年・部活等）を進めていきます。

生徒・保護者・地域・教職員が相互に信頼で結ばれた学校づくりの推進
○学校だよりや学年だより・学級だより等を発行するとともに、学校ホームページの更なる充実、掲示教育の充実（教科・学年・部活等の作品・試合結果等）を図り、学校情報の積極的な発信を行います。
○道徳指導・学校行事・部活動等において保護者や地域人材の一層の活用を図ります。
○学期ごとの学校評議員による学校評価を行います。生徒・保護者アンケートを実施し、評価結果を教育活動の改善に活かします。

生活指導・進路指導・特別活動

保護者との地域連携

小 中 一 貫	<p>①交流教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係小学校の児童を招いて、中学校説明会（生徒会主催）、部活動体験会を実施します。 ○音楽活動に関する小学校との交流会を実施します。 ○運動会、合唱コンクール等に関係小学校の児童を招待します。 
連 携 教 育	<p>②授業研究等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係小学校（田柄小、田柄二小）教員との合同研修会を年間通して計画的に実施します。また、校区別協議会（6月、11月）では、関係3校児童生徒の生活・学習にかかわることについて情報・意見交換を進めます。 ○田柄小・田柄二小とともに、3校合同の「算数・数学部会」「理科部会」「特別活動部会」を設け、教科や学級づくりに関する指導法の研究、課題改善カリキュラム研究を推進します。小学校教員による中学校での授業参観、中学校教員による小学校での授業参観なども計画的に実行し、学習指導等に関する意見交換を進めていきます。